

Aichi Soseido Press 2012.02

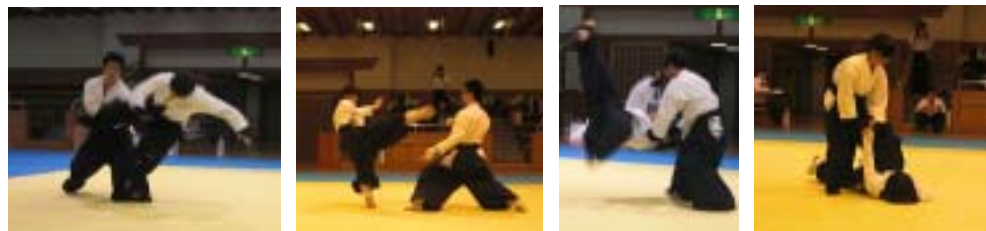
日本相生道協会愛知県支部から皆様に、旬のニュースをお届けします。

銚鏡術稽古会を実施

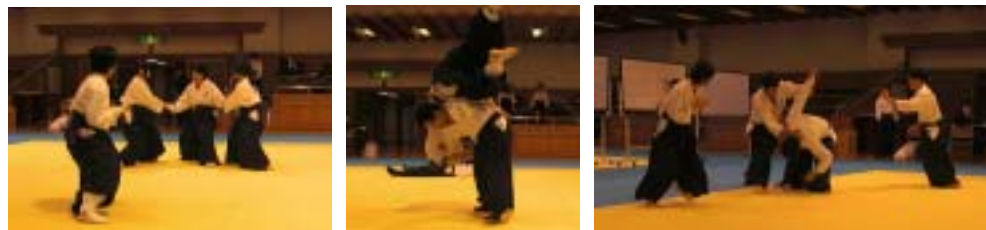
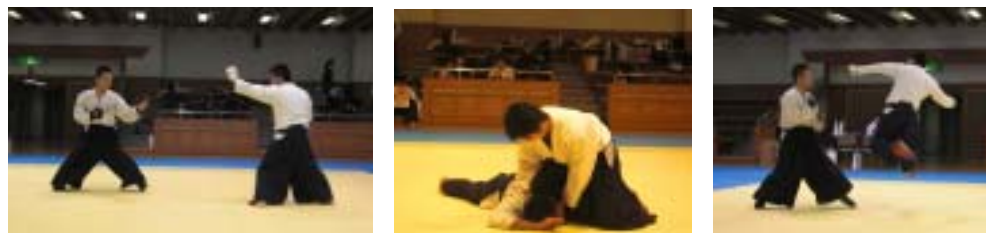
2011年12月27日、名古屋市天白区にて愛知県支部傘下「八雲会」主催の、銚鏡(手裏剣)稽古会が実施されました。銚鏡術は相生道の源流・天武無斗流に伝わる武器術の一つです。今回の企画は、銚鏡術を稽古する環境づくりの為のもので、的の素材や指導法などについて実験を兼ねて行いました。

[続報]第六回愛知県大会

前号で掲載しきれなかった、「第六回 相生道愛知県大会」(2011年12月3日開催)の写真を紹介していきます。



相生道の特徴として「掛け・応じ・返しの攻防法則(法形)」、「三次元空間を活用した攻防展開」などが挙げられます。法形競技においては前者の三要素を形として規定し、それ以外は自由に攻防をおこないます。一方、立合競技においてはその制約はないので、自由であると同時に難度も高く、適切な攻防をおこなうには熟練が必要です。



三次元の動態運用の発想に基づき、相生道では前後や左右の動きだけでなく、跳ぶ・沈み込むなどの動きを重視し、攻防両方で多用します。これは法形・多敵・立合どの競技形式でも同様で、さまざまな曲面でそれらの特徴を活かして攻防をおこないます。

発行：日本相生道協会愛知県支部 (<http://www.soseido.org/>) 文責：杉山元康